



# 瀬田の丘裏庭版

主任司祭から瀬田の兄弟姉妹へ

主任司祭 小西広志 神父



創刊 2022 年

編集協力・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部 東京都世田谷区瀬田 4-16-1



## カトリック歳時記



### 守護の聖人

守護の聖人とは大雑把に言えば「パトロン」(Patron Saint)のことです。個人や集団、場所などの保護者として崇敬され、願いを寄せられる聖人を指します。

守護の聖人は教会の発展と共に広く受け入れられていきました。古代の教会共同体は、中でも特定の殉教者を自分たちの守護の聖人としました。四世紀以降は、正しい行いをした聖人(証聖者)も守護の聖人となつていきました。人々は、自分たちと関係する聖人や場所と関連する聖人たちを守護の聖人として崇め、特定の願い事、取り次ぎの祈りなどをささげるようになったのです。

守護の聖人の伝統は現代にいたるまで、わたしたちキリスト信者

の信仰生活の中に根づいています。四つに大別できるでしょう。

1. 洗礼の時(あるいは時には堅信の時)に霊名として聖人名をつける(霊名の守護の聖人)。

古代の教会では霊名に聖人を選ぶのはむしろ稀でした。四世紀になって、その模範と取り次ぎを願つて、聖人、とりわけ殉教者が選ばれるようになりました。

2. 職業、身分、願い事の守護の聖人。

神学生の守護の聖人として聖アロイジオ・ゴンザガがいます。医師、医療従事者の守護の聖人として聖カミロ・デ・サルは有名です。テレビとそれに関わる人々のための守護の聖人は聖クララです。特定の願い事のための聖人として有名なのは、紛失物の守護の聖人としてパドヴァの聖アントニオで

す。この他にもたくさん守護の聖人がいます。

3. 共同体や、国、地方、国民のための守護の聖人。

ヨーロッパはヌルシアの聖ベネディクト、イタリアはアッシジの聖フランシスコが守護の聖人です。

4. 最後に、教会堂の守護の聖人があります。

聖堂、小教区、司教座聖堂、修道院などに、それぞれの守護の聖人があります。すでに古代の末期にはすべての教会堂に守護の聖人がつけられるようになっていきました。どの聖人を選ぶかの基準は様々です。殉教者の墓の上に建てられた教会堂では、その殉教者が守護の聖人となります(サン・ピエトロ大聖堂「バチカン」など)。また、聖人の聖遺物などに由来する教会堂にはその聖人の名を冠しました(聖アンブロジオ聖堂「ミラノ」など)。聖人が生まれた場所、宣教した場所に教会堂が建立される場合もありました。また修

道会の聖堂であれば、創立者、もしくはその会の靈性を表す聖人が守護の聖人となります（聖フランシスコ大聖堂、サン・ダミアール教会「アッシジ」）。また聖人の取り次ぎに感謝して教会や施設が建てられる場合もあります（日本では聖リタ教会「札幌教区、当別」、聖エリザベート音楽大学「広島教区」など）。さらに、最近では廃れてしまった習慣ですが、教会堂の鐘に守護の聖人の名をつけることはよくありました。なお、守護の



サン・ダミアール教会

聖人を決める際には、キリスト者によって選ばれたものを司教が同意し、使徒座の認可が必要となります。

小教区の信徒の台帳などをくついていると、思わぬ聖人の名前に出会います。さすがにフランシスコ会の教会ですから、アシジのフランシスコとかクララは多いです。ある世代の方々に集中している聖人もいます。フィロメナやマリア・ゴレッティなどです。また出身校にちなんだ洗礼名をつける方もいらつしやいます。ソフィア・バラやドン・ボスコなどがそうです。時には「どうして、このような聖人名を洗礼の時につけたのだろう」と考えさせられるものもあります。ある子どもの洗礼名はヴィテルボのローザでした（聖ローザ・ピテルリー）。十七世紀に教育者として活躍した聖女の名前をどうしてお子さんにつけたのだらうと思いつつも、子どもへの想いがあるって聖女を天国のお友だちとして選んだのだらうなと考え

ると、親御さんの子どもへの愛情が伝わってきます。

わたしの亡くなった父はヒヤシントという洗礼名でした。洗礼を授けてくれた神父さまからいただいた名前だそうです。しかし、ヒヤシントという聖人がどんな方なのかは、父は分からなかったそうです。むしろ、ヒヤシントという名前がヒヤシンスという花を思い出させるから女々しくて嫌だったと生きている時に聞いたことがあります。

父が死んで十年以上を経て、あの夏の日、わたしはドミニコ会のシスターたちのところでのミサ当番でした。今日はドミニコ会の聖人のお祝い日ですと言われて、聖人の名前を渡されました。そこには「聖ヒヤシント・オドロバス司祭」と記されていました。その時、初めて父の洗礼名がこの聖人に由来することが分かりました。父に洗礼を授けてくれたドミニコ会のエベル神父さまの洗礼名だったのです。終戦直後、教会に

訪ねてきた高校生だった父を可愛がり、ご自分の洗礼名を与えたのです。その時から七十年以上を経て、息子であるわたしが聖ヒヤシントに出会いました。教会の信仰の不思議さです。歴史上、聖ヒヤシントと呼ばれる聖人が三人存在します。一人は二世紀の若者、

カエサリアの聖ヒヤシントウス（Hyacinthus）、もう一人は三世紀の二人の殉教者、聖プロトウスと聖ヒヤシント、そして十三世紀のドミニコ会の聖人、聖ヒヤシント・オドロバス司祭（あるいはポーランドの聖ヒヤシント）です。エベル師の名前はヤシント・エベルですので、父は神父さまの名前をいただいたわけです。師の名前（洗礼名）がこの三人の聖ヒヤシントのどれなのかは分かりません。でも、不思議なことに聖ヒヤシント・オドロバス司祭が、聖ドミニコにあこがれてドミニコ会に入会したように、エベル師もまたドミニコ会の宣教師でした。一九三〇年代に来日し、戦時中は収容所に入れられ、戦後は進駐軍払い下げ

のジープを駆使して宣教なさいました。なにか聖ヒヤシントをめぐる縁のようなものを感じます。ちなみに「ヒヤシンス」ということ

ばは聖書に登場します（黙21章20節）。新しいエルサレムの都の城壁を取り囲む土台石の十一番目で

す。日本語では「青玉」となっています。

皆さんの守護の聖人は誰ですか？なぜ、その聖人を選んだのですか？これは黙想と祈りのテーマになります。

## 新しいミサの式次第について

『ミサ典礼書』の改訂作業は長い時間をかけてなされました。二回目は改訂の基本方針についてお話ししましょう。五つの点が大切になります。

### 1. 日本語版『ミサ典礼書』の完成

一九七八年に暫定的に認証された日本語版『ミサ典礼書』を、二〇〇二年に発表された『ローマ・ミサ典礼書』規範版第三版に基づいて完成させなければなりませんでした。実は現在使われている日本語のミサの式文は暫定的に聖座から認証されたものです。ですから

ら、これを正式な日本語のミサ式文として典礼秘跡省から認証を受けなければならなかったのです。その際、すでに二〇〇〇年代になつて原本となる『ローマ・ミサ典礼書』が改訂されていますので、その改訂に則つて日本語のミサの式文を作り上げる必要があるのです。すでに、英語圏では改訂されたミサの式文を使っています。

### 2. 忠実な翻訳

『ローマ・ミサ典礼書』規範版第三版はラテン語で記されていますので、各国の言語に訳さなければなりません。その際には「忠実

な翻訳」を目指さなければなりませんでした。典礼秘跡省が発表した指針『リトルurgia・アウテン

ティカム』（二〇〇一年）はラテン語規範版に忠実な翻訳を求めています。それに従つて、原文にできるだけ「忠実な翻訳」を目指しました。しかし、日本語と日本の文化の特別な事情から「忠実な翻訳」が難しい場合は必要な適応がなされました。また、暫定的に認証された日本語版『ミサ典礼書』が発表された後からいろいろな教会の公文書が発表され、日本語に訳されました。これらの翻訳を参考にしながら改訂作業を行いました。

### 3. 口語文

現代の日本語は口語体が主流となつていきます。もちろん文語体の表現が失われた訳ではありませんが、可能な限り口語体の式文を目指しました。「聖なる」、「神なる」などの文語表現は残っています。

### 4. 日本的な典礼の見直し

一九七八年に暫定的に認証された日本語版『ミサ典礼書』では日本語と日本の文化を尊重した日本のための適応が随所で行われました。これを再検討して、修正を加えました。

### 5. 意見の反映

現行の日本語版『ミサ典礼書』





に対する意見の回収は二十数年にわたってなされてきました。そこで蓄積された意見を改訂作業の参考としました。

以上が改訂の基本方針です。日本的な表現、日本的な典礼動作を大切にしたい『ミサ典礼書』に対して、新しいミサの式文はどちらかというところグローバルスタンダードに合わせたものとなったと思います。

さて、先月は「開祭」の場面の変更箇所を指摘しましたので、今月は「みことばの典礼」での変更箇所を指摘して、説明を試みましょう。

### 第一朗読、第二朗読の終わり

現行

朗読者…神に感謝

会衆…神に感謝

改訂

朗読者…(手を合わせてハッキリと) 神のみことば

会衆…神に感謝

解説

朗読のジェスチャーとことばは、現行では日本語に適應したものでした。しかし、教会共同体によつてまちまちの対応がなされてきました。瀬田教会では侍者が「神に感謝」と言つて、会衆が「神に感謝」と唱和しました。今回の式文の改訂では、規範版に従つて変更されます。朗読者が両手を合わせてハッキリと「神のみことば」と宣言し、会衆が「神に感謝」と答えます。規範版の原文で「神のみことば」は Verbum Domini です。

朗読者は教会共同体を代表して

神のみことばである聖書の箇所を朗読します。ですから、朗読者は「これは、他でもない神さまのみことばですよ」という意味合いをこめて「神のみことば」と宣言します。それに対して、会衆は信仰と感謝の心をもつて「神に感謝」と答えるのです。こうして、教会

共同体全体に神のみことばを通じ

て神さまが臨在してくださいます。

なお、朗読後、朗読者が聖書に一礼する、会衆が沈黙のうちに神のみことばをあげよう時間を取るの、日本のための適應となります。

### 福音朗読の始めと終わり

現行

朗読の始め

司祭(助祭)…主は皆さんとともに。

会衆…また司祭とともに。

司祭(助祭)…○○による福音。

会衆…主に栄光

福音朗読後

司祭(助祭)…キリストに賛美

会衆…キリストに賛美

改訂

朗読の始め

司祭(助祭)…主は皆さんとともに。

会衆…またあなたとともに。

司祭(助祭)…○○による福音。  
会衆…主に栄光

福音朗読後

司祭(助祭)…主のみことば

会衆…キリストに賛美

「またあなたとともに」は前回の解説を参照してください。

これまでは「キリストに賛美」を福音朗読者も会衆も唱えていましたが、改訂では規範版に合わせて、福音を朗読する司祭ならびに助祭の言葉が変更されます。この言葉は第一、第二朗読終了後の Verbum Domini と同じです。日本語では第一、第二朗読では「神のことば」とし、福音朗読では「主のことば」としました。会衆はキリストに賛美と答えます。

なお、司祭ならびに助祭は、福音書を両手で掲げて「主のみことば」と宣言します。これは日本だけの適應となります。



## 絵画に寄せて

ヘールトヘン・トット・シント・

ヤンスは現在のオランダで15世紀後半に活躍した作家です。この名前は「聖ヨハネの小さきヘーラルト」の意味です。写実的で細密な人物描写、当時の風景を思い起こさせる風景描写などに、この作家

「ラザロの復活」と題されたこの作品は、聖書の「ラザロ出て来なさい」と大声で叫ばれた」(ヨ

が生きた時代に主流となった「初期ネーデルランド派絵画」の伝統を見てとることができません。しかし、人の顔の卵形の表情と、はっきりとした明暗の使い分けの技法などから、画面から独自の神秘的な世界観へと見るものをいざないます。

「ラザロの復活」と題されたこの作品は、聖書の「ラザロ出て来なさい」と大声で叫ばれた」(ヨ



「ラザロの復活」ヘールトヘン・トット・シント・ヤンス(1480-1490年頃)

パリ、ルーヴル美術館所蔵

ハ11章43節)を題材に描かれています。画面中央にあるイエスさまの手にわたしたちの視線は釘付けとなります。起き上がるラザロもイエスさまの手を見つめ、その向こうにあるイエスさまの顔に視線を投げかけているようです。画面右で手を合わせて祈っているのはラザロの姉妹マリアでしょうか。マリアは「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに」(32節)と語りかけました。その後ろに同じように祈っている黒ずくめの女性が見えます。「主よ、四日もたっていますから、もうにおいませ」(39節)と言ったもう一人の姉妹マルタかもしれません。あるいは逆にひざまずいている方がマルタで、後ろで祈っているのがマリアなのかもしれません。

イエスさまの横にいる人々は、明らかにイエスさまに敵意の視線を投げかけています。一人は目を背けています。死者の復活を否定する律法の専門家たちだったかもしれません。その後ろ、画面中

央よりやや右隣の男性がささやき合っています。「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないうにはできなかつたのか」(37節)と言った人々なのでしょう。そのような人々は画面左側の端にも見えます。イエスさまの横にいる一群の人々はマリアさまをはじめとするお弟子さんたちでしょう。イエスさまの手の下で身をかがめているのは、のちに墓へと走ったペトロの姿を思い起こさせますし、イエスさまの左に、マリアさまとの間にいるのは、イエスさまが愛された弟子であるヨハネを思い起こさせます。

福音書には「心に憤りを覚え」(33節)、「涙を流され」る(34節)イエスさまの心のうちは表現されていません。日常の出来事のようにラザロを見つめるイエスさまだけが立っています。周りの驚く人々、祈る人々、無視する人々をよそに、イエスさまはご自分に与えられた「いのち」の使命を果たしているかのようです。

## 主任司祭からのお知らせ

コロナ禍は次第に過ぎ去りつつあるかもしれませんが、ミサの中ではマスクの着用、手指消毒などお願いします。

### アントニオ食堂

地域の皆さまに受け入れていただいているアントニオ食堂は、おかげさまで60食以上を提供しています。

アントニオ会館リニューアル工事のために8月より工事終了までお休みいたします。

### ベトナムの兄弟姉妹たちのために

毎月、葛西教会に物資を運んでいます。粉の洗濯石鹸、Tシャツ（できるだけ新しいもの）、カップラーメン（期限切れも可）などありましたら、主任司祭までお願いします。

### ミャンマーの人々と共に平和を求めて

今年もミャンマーの方々からお話をうかがいましょう。8月7日の9時半のミサ終了後に集い<sup>つどい</sup>をします。

### 典礼の暦

7月 3日 年間第十四主日

7月 10日 年間第十五主日

7月 17日 年間第十六主日

7月 24日 年間第十七主日

7月 31日 年間第十八主日

8月 7日 年間第十九主日

ミャンマーの人々ともに平和を求めて祈りましょう。

ミサ後、ミャンマーの方々からお話をうかがいます。

8月 14日 年間第二十主日

8月 15日 聖母の被昇天 ミサ 6時20分、10時半

8月 21日 年間第二十一主日

8月 28日 年間第二十二主日

